

近代和風建築総合調査について

東京都近代和風建築総合調査を実施しています！

平成18年度から文化庁の国庫補助を受けて、東京都教育委員会では「東京都近代和風建築総合調査」を実施しています。

この調査は、文化庁が平成4年度から全国で順次着手している「近代和風建築総合調査」の一環で、近代和風建築の所在状況と重要遺構の把握を目的としています。



目黒区駒場公園 旧前田侯爵邸和館
昭和5年（1930）完成

調査対象は、明治元年(1868)から昭和20年(1945)までに建設された建築のうち、日本の伝統的様式や技法で建てられた木造建造物で、住宅、旅館、料亭、商店などのほか、神社や寺院などの宗教建築、学校、病院、公衆浴場などの公共建築です。

こうした建物は、身の回りに当たり前のように存在していた木造建築なのですが、開発の波に押しされ取り壊され、また防災の観点から解体を余儀なくされ、徐々に失われていっています。

一方で東京が歩んできた足跡を如実に現しているのもこうした建造物であり、東京の歴史や文化を語る上で欠かせない存在でもあります。

調査は、近代和風建築の残存状況を把握し、東京あるいは日本の近代建築の歴史上重要なものを保存するための基礎資料となります。

この調査は、区市町村教育委員会の文化財担当と協同して行われ、東京都が設置する調査委員会において協議を図りながら、平成20年度まで実施し、報告書に取りまとめられる予定です。

東京の歴史と文化が薫る街づくりのために役立つことを目指し取り組んでいます。

◆ 編集後記 ◆

今号は、10月から始まる東京文化財ウィーク2007の特集を組みました。

ただ今、準備を着々と進めています。

10年目を迎える今年度は、新規に公開する文化財もあり、また、みなさまに幅広く興味を持っていただけるよう、文化財に関連した様々な企画事業を計画しています。

今年の秋は是非、「東京文化財ウィーク2007」にお出かけ下さい。

次回「東京の文化財」第103号は、
11月30日発行予定です。

「東京の文化財」第102号

平成19年7月31日

発行 **東京都教育庁生涯学習部計画課**

〒163-8001

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03(5320)6862